

第 36 回 下呂市上下水道運営委員会

【議事録】

1. 開会（事務局 部長 今村正直）

これより第 36 回上下水道運営委員会を始めます。

2. 会長あいさつ

皆様、ご苦勞様です。大変お忙しい中、足を運んでいただきましてありがとうございます。

日本では下水道管老朽化による道路陥没事故が発生しました。下呂市には大きな直径の管は無いにしても、老朽化が進んできていますので、その課題に向けてどのように負担していくかが大切だと思います。市民目線での意見を沢山だしていただけると幸いです。

2. 市長あいさつ

この度も上下水道運営委員会にお集まりいただきありがとうございます。

4 月よりスタートする下呂市第三次総合計画に沿って令和 7 年度の予算を作成しました。下呂市は著しい人口減少が想定されます。その中で管路の老朽化に対応していくには受益者負担という観点からも料金を値上げする必要があります。

皆様のご意見を聞き、老朽化に対しての料金改定の仕方を検討していければと思います。本日はよろしく願いいたします。

3. 協議事項

【埼玉県八潮市での道路陥没事故について】（報告）

事務局より事故の詳細と下呂市の状況を説明

- 八潮市で破損した下水道管は設置から 42 年経過しており直径は約 4.75m。鉄筋コンクリートが腐食したことが破損原因と思われる。
- 下呂市内の下水道管の状況：総延長約 400km、鉄筋コンクリート製 8.2km、
直径 0.2m～1.2m
- 老朽化対策として、マンホール内部点検やカメラによる調査を実施。
- 今後は計画的な調査・点検を検討。

【下水道使用料金改定について】

事務局より資料に基づき説明（1～3P）

〈質疑応答〉

Q（委員）

人口減少は加味してあると思うが、少子高齢化は加味してあるのか。

A（上下水道部長 今村）

人口減少のみ加味して作成しています。

C（有識者）

一人当たりの使用水量なので人口減少のみでいいと思う。

Q（有識者）

グラフ 3 の維持管理費で R6～R8 の傾きが大きい。その後傾きは緩やかになっているがなぜか。

A（上下水道部長 今村）

R6～R8 に急激に上がっているのは物価、人件費の高騰が原因です。処理場の管理などを民間に委託していますが金額の見直しを測っています。R8 以降についても上がる可能性はありますが年 1%程の上昇でグラフを作成しました。

Q（有識者）

R8 以降に物価高騰が収まる想定もしにくい。受注者の値上げの想定のみだと不安が残る。合併浄化槽への転換も加味してのグラフだったらよかったが、これだと想定が甘い気がする。

A（上下水道部長 今村）

見込みが甘いと言われればそうかもしれませんが、上げすぎもよくないと考えます。なお、合併浄化槽への転換が進んでもグラフの推移は変わらないと思われま

A（下水道課長 谷田部）

急激な上昇は R7 当初予算における契約の更新などが起因となっています。

Q（有識者）

グラフ 2 にて、繰入金が基準内と基準外に分かれているのはなにか。

A（上下水道部 今村）

下水道運営の為に国から交付されるのが基準内繰入金で、それでも足りない部分を補填する為に税金から投入されるのが基準外繰入金です。

Q（有識者）

基準外繰入金を投入するのが今後難しくなるから減らしていくのか。今後も市税からの投入で補填できるなら、値上げする必要がないと思う。

A（上下水道部 今村）

財政部局とも相談しましたが、市の財政そのものが厳しく下水道に予算を回せない状況にあります。本来、道路改良や福祉に回さなくてはいけないものなので、料金にて市民の皆様から徴収し補填した方がいいという考えです。

C (有識者)

その財政背景を市民に伝えないと料金改定の説明がうまくいかないと思う。

Q (委員)

グラフ 2 の R4 からの基準内繰入金が増加しているのはなぜか。

A (下水道課長 谷田部)

基金が底をついたため、基準外繰入金に頼らざるを得なくなったためです。

事務局より資料に基づき説明 (4、5P)

C (委員)

水道の料金改定とは違い、市民全体で料金を値上げするため負担も大きくなる。そこを市民に納得してもらえるかが重要になってくるが現状市としてもこの方向性で正しいのかが不安として残っている。率直な意見が欲しい。

Q (委員)

合併浄化槽への転換が進めば、改定案が変わってくるのか。

A (下水道課長 谷田部)

転換が進めば年間に 1 億 2,000 万円程の経費を削減できます。進捗としましては、反対者が各地区に一人はみえるため滞っている状態です。

Q (有識者)

転換を進めようとしている 8 つの処理区の処理人口はどのくらいなのか。

A (下水道課長 谷田部)

対象地区内で 320 戸で、約 1,700 人です。

Q (委員)

市が負担する合併浄化槽への転換費用はかなりかかるのか。

A (下水道課長 谷田部)

一件あたり約 300 万円かかるので 320 戸となると約 10 億円程かかります。加えて、加入負担金の返還もあるのでかなりの投資額を要します。

Q (委員)

改定割合 175%というのは変えることはできないのか。

A (下水道課長 谷田部)

必要な経費を賄うために必要な数字です。175%を減らしたとして他の負担を上げないといけなくなります。どこに負担をかけるかを議題にさせていただきたい。

C (委員)

市民としては2倍近くの値上げは厳しいと思う。

C (有識者)

今回の改定案は根拠がよくわからないので明確にしてほしい。

C (委員)

175%改定を市民に説明するのはかなり苦勞すると思う。一度数字を見直すことも検討した方がいいと思う。

C (下水道課長 谷田部)

合併浄化槽への転換の話をする、転換した場合、年間約6万円、月5,000円となります。これを踏まえると下水道料金も同じぐらいにした方がいいかとは思いますが、逆に考えると今までは下水道料金が安かったということになります。値上がりが急激なので、現段階で悩んでいるというのが本音です。

Q (委員)

合併浄化槽への転換に反対しているのは高齢者が多いのか。

A (下水道課長 谷田部)

比較的、過去からの下水道事業を知っている方が多いです。

Q (委員)

合併浄化槽への転換は家族の人数によって大きさが決まると思うので、そこを見直せば少しは考えを変えてくれると思う。

A (下水道課長 谷田部)

合併浄化槽の大きさは建物の延べ床面積によって変わります。

Q (有識者)

合併浄化槽転換者の不公平感を無くすために補助金を出せないのか。

A (上下水道部長 今村)

合併浄化槽は一般会計で対応しなくてはいけないが、一般会計に対応できる余地がありません。

Q (有識者)

基準外繰入金を回せないのか。

A (上下水道部長 今村)

その場合、もとより合併浄化槽を設置している世帯にも補助金を出さなければいけなくなり、金額がかなり膨らむ。合併浄化槽管理費も岐阜県で統一されているので改定も難しいと思われます。

Q (委員)

合併浄化槽の耐用年数はどのくらいか。

A (下水道課長 谷田部)

給排水設備は約 15 年で、浄化槽自体は約 30 年です。

C (有識者)

下水に関しては、大口利用者であろうが一人であろうが、環境を守るためという中で公平性は必要だと思う。その目線では今回の改定案は適切ではないと思います。

C (上下水道部長 今村)

今回の改定案は見直したいと思っています。色々な形でシミュレーションしたいと思っています。

C (委員)

下水が上がるとなると一般家庭でどのくらい上がるのかを分かり易くしてほしい。

C (委員)

公共機関はいいと思うが、旅館は営業で利益を得ているので普通に料金を徴収していいと思う。

C (委員)

電気・ガスとは違い市民目線で丁寧に考えているので、そこを分かってもらえるような説明をできるといいと思う。

C (委員)

人口減少は予測できても経済の流れまでは予測できないので、現状で最善の方法を検討する必要があります。

Q (委員)

県内で他の地域の料金はどうか

A (上下水道部長 今村)

現在下呂市は 12 番目です。改定した場合、県下で 1 番 2 番になります。

A (下水道課長 谷田部)

人口が密集している公共処理区では現在も採算が取れています。

C (有識者)

管が埋めやすく水を集めやすい地域と比べると山間部なので費用が掛かる。市全体として地域特性を理解し投資してもいいと思う。

下流の市町村のことを考えると、排水処理で綺麗な水を出さなければいけないので、排水処理に費用をかけるということに理解を示してもらうことが大切だと思う。

C (委員)

市民への負担を増やすばかりではなく、行政としての責任をどの程度果たすかも検討してほしい。市民の皆様にも環境を守るために納得していただけるようになればいいと思う。

5. 次回の上下水道運営委員会の開催日程について

次回上下水道運営委員会は令和7年4月24日（木）に決定

6. 閉会